

被災地方言会話集

— 宮城県塩竈市 —

<場面設定会話>

場面設定会話の概要

収録地点 宮城県塩竈市

収録日時 2013（平成 25）年 2 月 1 日

収録場所 宮城県塩竈市宮町（話者 B 宅）

話題 【場面設定会話】
全 13 場面

話者

A	男	1949（昭和 24）年	（収録時 63 歳）	[B の隣人]
B	女	1957（昭和 32）年	（収録時 55 歳）	[A の隣人]

話者出身地

A	塩竈市宮町（ミヤマチ）
B	塩竈市宮町（ミヤマチ）

【場面設定会話】

話し手

A 男 1949 (昭和 24) 年 (収録時 63 歳)

B 女 1957 (昭和 32) 年 (収録時 55 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001 B : オハヨーゴザイマース。

おはようございます。

002 A : アイ オハヨー。

はい おはよう。

003 B : ア ドゴニ イグノ、 ソナカッコーシテ。

あ どこに 行くの、 そんな格好して。

004 A : ン。 コレガラ センダイ。

うん。 これから 仙台。

005 B : ナニ、 ナン ドッカサ デンノ。

何、 ×× どこかに 出るの。

006 A : センダイデ カイゴー アンノッシャ。

仙台で 会合 あるんだよ。

007 B : ア ホンドニ。 ミ ミタコドナイカッコーシテ。 イッテラッシャーイ。

あ 本当に。 × 見たことない格好して。 行ってらっしゃい。

008 A : {笑} イズバン イーフグ チテチタガラ。

{笑} 一番 いい服 着て来たから。

009 B : ンジャーネー。

それではね。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。〔1〕

001B : ドゴサ イッテキタノ。
どこへ 行ってきたの。

002A : ジャスコサ イッテチタンダ、 イマ。
ジャスコへ 行って来たんだ、 今。

003B : ナニカ カッテキタノ。
何か 買ってきたの。

004A : ダメダ、 ヤサイ ミンナ タゲクテ。
駄目だ、 野菜 皆 高くて。

005B : ンデ ダメダナー。 ンジャ イーフ。
それで [は] 駄目だな。 それでは [買い物に行くのは] いいや。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オバンデスー。
こんばんは。

002B : コンバンワー。 アレ コンド カイキ° アンノ ワカッテダ。
こんばんは。 あれ 今度 会議あるの わかっている？

003A : ウン ワカッテダ。 アシタダオンネ。
うん わかっている。 明日だものね。

004B : ウン ジャ ワスレナイヨーニ キテクーダサイ。
うん では 忘れないように 来てください。

005A : ハイ。 ナンジダツケ。
はい。 何時だっけ。

006B : シチジ。
七時。

塩竈市 場面設定会話

007A : シチジ。
七時。

008B : ウン、 (A ハイ) ウジデ ヤッカネ。
うん、 (A はい) [私の] 家で やるからね。

009A : ハイ、 リョーカイ。
はい、 了解。

010B : ハイ、 ンジャ オネガイシマース。
はい、 それでは お願いします。

011A : ハイ。
はい。

〈 ねぎらい 〉

(4) Aが仕事に精を出すBと会い、Bの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001B : ナニ ヤッテンノー。
何 やっているの。

002A : ンーナ、 キノーツカラ イギナリ ユギ フッタガラヤー。 ユギカギ
×××、 昨日から 急に激しく 雪 降ったからさ。 雪かき

スネド ヒト トーランネーガラ ホレ。(B ンー) ユギガギ
しないと 人 [が] 通れないから ほら。(B うん) 雪かき

スツタンダッチャ。
していたんだよ。

003B : ア タイヘンダゴダ。 コシ イタメネーヨニ ガンバツテ アト
あ 大変だなあ。 腰 [を] 傷めないように 頑張って あと

(A ンダ) ヤツテクダサイ。(A ンダ) ンジャネー。

(A そうだ) やってください。(A そうだ) それではね。

塩竈市 場面設定会話

004A : テキトーニ ヒト トーレルクレーノ ハバニスッカラワ。
適当に 人 [が] 通れるくらいの 幅にするからよ。

005B : ハイハイ。 ガンバッテ。 ンジャネ。
はいはい。 頑張って。 それではね。

〈 勧め 〉

(5) Bが、仕事をしているAに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001B : スコシ ヤスンデ オジャ ノンダラー。 ウチサ ヨッテガイン。
少し 休んで お茶 飲んだら。 [私の] 家に 寄っていきなさい。

002A : ンー。 ンデ オジャニ スッカナ。
うん。 それで [は] お茶に するかな。

003B : ウーン。 ンジャ ドーゾー。
うん。 それでは どうぞ。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、AがB宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001A : コンーニジワ。
こんにちは。

002B : アー。 (A トー) コンニチワー。
ああ。 (A ××) こんにちは。

003A : トーチャン イダッスカ。
お父さん いますか。

004B : トーチャンネ、 チョット デカケテテー、 マダ カエッテコナインデス。
お父さんね、 ちょっと 出かけていて、 まだ 帰って来ないんです。

ドーシマスカー、 アトデ レンラクシマスカー。
どうですか、 あとで 連絡しますか。

塩竈市 場面設定会話

005A : ドノクライ カカンダベ、 カエッテクルマデ。
どのくらい かかるんだろう、 帰って来るまで。

006B : ウーン、 ワカンナイドゴダナー。
うーん、 分からない所だなあ。

007A : アー ンデ ワガッタ。 ンデ チョット ヒドマワリシテ
ああ それで [は] 分かった。 それで [は] ちょっと ひと回りして

(B ウン) カエリニ モイッカイ ヨッカラ。

(B うん) 帰りに もう一回 寄るから。

008B : ウン ソシタラ ンジャー ソントキ、 カエ ハヤク カエッテキタラ
うん そうしたら それでは その時、 ×× 早く 帰って来たら

アノー ユットキマスカラ。

あのー 言っておきますから。

009A : ウン。 (B ハイ) ンデネ。
うん。 (B はい) それで [は] ね。

010B : ハイ、 ンジャ オネガイシマース。
はい、 それでは お願いします。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) AがBにスコップを借りるときのやりとり。(Bが貸す場合)

001A : モーースワケネーゲットモ スコップ カシテケネーガヤ。
申し訳ないけれども スコップ 貸してくれないかな。

002B : ア ソゴサ アッガラ モッテッテエーヨー。
あ そこに あるから 持って行っていいよ。

003A : ンデ カリッカラ。
それで [は] 借りるから。

塩竈市 場面設定会話

004B : ア ンジャネー。
あ それではね。

〈 お礼 〉

(8) Aが借りたスコップをBに返しに行ったときのやりとり。

001A : ドーモドーモ アリガトーゴザリシタ。
どうもどうも ありがとうございます。

002B : ンジャ ソコニ オイデデクダサイ。 ンジャー ドーモー。
それでは そこに 置いておいてください。 それでは どうも。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) AがBに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : コンニジワ。
こんにちは。

002B : ハイ。
はい。

003A : アノ、 コナイダ カリタスコップ、 カエシサ キタンダゲッドモ、
あの、 この間 借りたスコップ、 返しに 来たんだけど、

チョット エー オッチョッテシマッテッシャー。 モーシワゲナイッス。
ちょっと 柄 [を] 折ってしまってさあ。 申し訳ないです。

エーベガ。
いいだろうか。

004B : ウーン。 ダイジョブー。 イーヨ。 エー デモ コレ スッカリ
うん。 大丈夫。 いいよ。 えー でも これ まったく

コワレテナカッタノニ ナンデ コワレダノ。
壊れていなかったのに 何で 壊れたの。

塩竈市 場面設定会話

005A : イギナリ フンズゲダッケ コワレデシマッダワ。
ひどく 踏みつけたから 壊れてしまったよ。

006B : ナンダペー マー イーヤ。
何だろう まあ いいや。

(9-2) Bが破損に対して不満を述べる場合。

001A : コニーニジワ。 コイズ アノ コナイダ カリダスコップナンダゲッドモ、
こんにちは。 これ あの この間 借りたスコップなのだけれども、

ナンダカ エー オ アノー オレデシマッテ モーシワケ
何だか 柄 [が] × あの 折れてしまって 申し訳

ネーナンダゲッドモ、 カエシサ キタンダゲッドモ、 ナジョスッペネー。
ないんだけれども、 返しに 来たんだけれども、 どうしようね。

002B : ナンダペー セッカク カッタノニー。 コナイダ ヤット
何だろう せっかく 買ったのに。 この間 やっと

カッタオノダッペヤ。 ベンショーシテモラウガラネ。 ドースルー。
買ったものなんだよ。 弁償してもらうからね。 どうする。

003A : ナーンボデ カッテチタノ。
いくらで 買って来たの。

004B : ウーン ソゴノー ローヤル [2] ニ イッテ センイグランナンダゲドモー、
うーん そのの ロイヤル に 行って 千いくらなんだけれども、

ベンショーシテモラウガラ。 カッテキテモラワナイド。
弁償してもらうから。 買ってきてもらわないと。

005A : ンデー マヤウガラ。
それで [は] 弁償するから。

〈 誘いと断り 〉

(10) AがBをショッピングセンターに誘う際のやりとり。

001A : イマカラー ビッグ [3] サ イグンダケッド イッショニ イガネーッスカ。
今から ビッグ へ 行くんだけど 一緒に 行かないですか。

002B : アー ダメダー。 イマカラダト ヨージアッテ。 ウジノシトダジド
あー 駄目だ。 今からだと 用事 [が] あって。 [私の] 家の人達と

デガケナキャナンナイカラ ダメダー、 キョーワ。(A ウン) ゴメンネ。
出かけなければならないから 駄目だ、 今日は。(A うん) ごめんね。

003A : インデ ナニガ ホシーモノ アッダラ カッテチテケッカラ、 イッショニ。
それで 何か 欲しいもの あったら 買って来てやるから、 一緒に。

004B : ハーイ。 ンジャ アトデーー デンワデモ シマス。 スイマセン、
はい。 それでは あとで 電話でも します。 すいません、

(A ア ハーイ) ワザワザ アリガトー (A ン) ゴザイマース。

(A あ はい) わざわざ ありがとう (A ん) ございます。

005A : ハーイ。
はい。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩している人に、体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) 体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。Bの調子がいい場合。

001A : ナージョナノ。 カゼ ヒーダッテ キーダゲッドモ、グエー
どうなの。 風邪 [を] 引いたって 聞いたけども、 具合 [は]

イーノスカ。
いいのですか。

002B : ウーン、 ダーイジョブ。 ナントガストガデ ヤッテッカラ。
うーん、 大丈夫。 何とかすんとかで やっているから。

塩竈市 場面設定会話

シー、 ゴメンネー。 ンジャー。
うーん、 ごめんね。 それでは。

(11-2) 体調を崩しているAに、Bが体の調子を尋ねる際のやりとり。Aの調子が悪い場合。

001A : カゼ ヒーダッテ キーダダゲッドモ、 ナジョナノッシャ。
風邪 [を] 引いたって 聞いたのだけれども、 どうなのさ。

002B : アー チョーシ ワルイー。 ナンダカー、 アッチコッチ イダイシー、
ああ 調子 [が] 悪い。 何だか、 あっちこっち 痛いし、

コシモナニモ ナニモカニモ ダメダ。
腰も何も 何もかにも 駄目だ。

003A : ネズ アンノ。
熱 [が] あるの。

004B : ネズ ナイゲッドモ、 ナンダカ チョーシ ワルイガラ イーワ、
熱 [は] ないけれども、 何だか 調子 [が] 悪いから いいわ、

キョー。 ヤスンデル。
今日。 休んでいる。

005A : ビョーインサ イッテ ミデモラッタホーガイーヨ、 ハヤグ。
病院へ 行って 見てもらった方がいいよ、 早く。

006B : ハイハーイ。 ドーモネー。
はいはい。 どうもね。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというBに、Aが「(私が) 片付けてやろう」というときのやりとり。

001A : ナンボ カダズイダノッシャー。
どれくらい 片付いたのですか。

塩竈市 場面設定会話

002B : ウーン スコシダゲ。
うーん 少しだけ。

003A : ナーンダ。 ミーンナ ドロカブッタモノ。 テズダウガー。
何だ。 皆 泥被ったもの。 手伝うか。

004B : ウーン。 ヤンダグナッゴダ。 ウーン。 オネガイスッカナ。
うーん。 嫌になることだ。 うーん。 お願いするかな。

005A : ウーン (B ウーン) ンデ チョゴッド テズダウガラ。
うーん (B うーん) それで ちょこっと 手伝うから。

006B : ハーイ。
はい。

007A : オッチョゲデアアルノ、 コワレダスコップデ エーガラ モッテキテケロ。 [4]
折れているの、 壊れたスコップで いいから 持ってきてくれ。

008B : スイマセーン。 ジャ オネガイシマスー。ー。
すいません。 それでは お願いします。

009A : ハーイ。
はい。

010B : ハイ ドーモー。
はい どうも。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をAが間違っ捨てようとしているときに、Bがそれを
制止してどのようにいうか。

001A : コイズモー、 ンデ コイズモ ナゲ ミンナ ナゲデイーンダスッペガ。
これも、 それで これも ×× 皆 捨てていいんでしょうか。

002B : アー ソイズ ダメダー。 ソイズワ チョット トッテデー。
あー それ [は] 駄目だ。 それは ちよつと 取っておいて。

塩竈市 場面設定会話

アドガラ ミツカラ。 ワルイゲド ソノママニ シテデー。
後から 見るから。 悪いけど そのままに しておいて。

003A : ナニ ウズツテンノ、 コイツツア。
何 写っているの、 これは。

004B : ウン。 ワカンナイ。 ミデミナイド ワガンナイガラ ソノママニ
うん。 わからない。 見てみないと 分からないから そのままに

シテデー。 オネガイー。
しておいて。 お願い。

005A : ウン。 ハーイ。
うん。 はい。

宮城県塩竈市方言会話集（場面設定会話）注記

- [1] ここでは、近所のお店ジャスコへ買い物に行こうとしているBと、買い物に行ってきたAが、昼間、道端で会うという場面設定で演じている。
- [2] ローヤル
近所のホームセンターのこと。
- [3] ビッグ
近所のショッピングセンターのこと。
- [4] コワレダスコップ
話者Aが（9-2）の状況を踏まえてこういったものと考えられる。

宮城県塩竈市方言会話集（場面設定会話）担当者

収録担当者 中西 太郎（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）
津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程3年）

文字化担当者 中西 太郎（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）